

# 上天草市立上天草総合病院 が担う役割について

令和5年7月 上天草市立上天草総合病院

## 【自施設の現状と課題】

### ■自施設の理念

上天草市唯一の総合病院として、かかりつけ医の機能から救急、保健、介護までを包括して担い、赤ちゃんからお年寄りまでの健康管理を行い、信頼される地域医療を目指す。

### ■基本方針

患者中心の医療、退院後も安心して療養できる医療、へき地医療等の政策医療も担い、住民が住み慣れた地域で、安心して暮らせるよう経営健全を図り、地域に貢献する。

# 1 現状と課題 2/8

## ■自施設の診療実績（届出入院基本料、認定施設、平均在院日数等）

- 一般病棟DPC（72床）：一般病棟入院基本料10対1（急性期一般入院料4）
- 地域包括ケア病床（20床）：地域包括ケア入院医療管理料1
- 地域包括ケア病棟（57床）：地域包括ケア病棟入院料1
- 療養病棟（46床）：療養病棟入院基本料1

- ・熊本県へき地医療拠点病院、災害拠点病院
- ・肺がん精密検査機関認定施設
- ・地域包括医療・ケア認定施設
- ・熊本県肝炎治療特別促進事業に係る指定医療機関
- ・臨床研修協力病院（地域医療研修「熊本大学医学部附属病院、熊本赤十字病院、済生会熊本病院」など）
- ・看護師実地研修受入（「上天草看護専門学校」）
- ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士実地研修受入
- ・管理栄養士実地研修受入
- ・視能訓練士実地研修受入

# 1 現状と課題 3/8

## 入院の状況

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 (4月～6月)
延べ数	一般	23,900人	20,497人	23,237人	5,325人
	療養	16,486人	16,375人	15,375人	3,664人
	地包	17,943人	17,458人	17,184人	4,522人
利用率	一般	70.4%	60.4%	68.5%	63.6%
	療養	98.2%	97.5%	91.6%	87.5%
	地包	86.2%	83.9%	82.6%	87.2%

【平均在院日数】 一般病棟 16.92日 (R4年度)  
直近平均 14.99日 (R5年度) 4月～6月

# 1 現状と課題 4/8

## ■自施設の職員数 (R5.7時点)

(医師、看護職員、その他専門職員、事務職員等)

医師 常勤 16名 (内科6名、外科1名、整形外科2名、眼科2名、循環器内科1名、小児科1名、泌尿器科1名、婦人科1名、歯科1名)

非常勤 12名 内科3名 (週1~2回)  
循環器科1名 (週1回)  
外科1名 (週2回…内視鏡)  
小児科1名 (週2回)  
泌尿器科1名 (月2回…透析)  
耳鼻咽喉科1名 (週3回)  
皮膚科1名 (週1回)  
整形外科1名 (週1回)  
眼科1名 (週1回)  
麻酔科1名 (週1回)

# 1 現状と課題 5/8

## その他職員

○薬剤師	4名	○看護師	117名
○放射線技師	6名	○准看護師	6名
○検査技師	10名	○臨床工学技士	4名
○理学療法士	9名	○看護補助者	21名
○言語聴覚士	1名	○診療情報管理士	3名
○作業療法士	2名	○管理栄養士	3名
○視能訓練士	4名	○歯科衛生士	2名
○歯科技工士	1名	○事務職員	28名
○医師事務補助	6名	○社会福祉士	5名
○調理業務	15名	○その他	16名
		小計	279名 (非常勤含む)

○上天草看護専門学校	13名	○健康管理センター	6名
○訪問看護ステーション	3名	○介護老人保健施設	49名
○在宅介護支援センター	1名	○居宅介護支援センター	2名
○教良木診療所	3名	合計	356名 (非常勤含む)

## ■ 自施設の特徴・政策医療について

### 【自施設の特徴】

- ・ 当院は上天草市の南端に位置しており、主な診療圏は上天草市及び天草市御所浦町、倉岳町となっている。人口減少も著しく、高齢化が進んでおり慢性的な医療が中心である。地域包括ケア病棟をはじめ、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、居宅介護支援センター等を有し、急性期医療・回復期医療・在宅医療を行い、地域包括ケアを実践している。

### 【政策医療】

- ・ 救急告示病院、病院群輪番制病院として救急医療、休日及び夜間の急患にも対応している。常勤医不在の脳神経外科、心臓血管外科及び緊急性が必要な小児・周産期に関しては、天草地域医療センターをはじめ、熊本市内の高度医療機関と連携している。
- ・ へき地医療拠点病院として御所浦診療所、教良木診療所へ医師を派遣し、へき地医療の支援活動を行っている。
- ・ 災害拠点病院としてDMATチームを2チーム有し、熊本地震の際には被災地に出動し、救助活動を行った。
- ・ 手術室を3室有しており、令和4年度の入院手術は年間545例（うち全身麻酔4例）の手術を実施している。
- ・ 人工透析治療を19床で行っており、1日当たり25名程度実施している。

# 1 現状と課題 7/8

## ■自施設の現状と課題

一般病床149床、療養病床46床の195床の許可病床を有している。これまで急性期から保健予防及び在宅まで提供してきたが、回復期も一般病床で行っており、平均在院日数も長かったことから、病床機能の役割について見直しを行った。平成28年度にDPCを導入、一般病床のうち20床を地域包括ケア病床及び57床を地域包括ケア病棟とし、病床機能の推進を図り、在宅復帰を進めたことから、今後は、在宅支援へのニーズに対応する体制をさらに充実させていくことが課題となった。

当院の立地からみて、一般急性期は必要としつつ、予防から在宅まで包括的に医療を提供することが使命であると考え。地域の人口減少が進み、在宅療養が中心となるなか、適正な病床数の検討、並びに介護及び在宅医療を充実させるため、訪問看護師の増員及び病院からの訪問リハビリテーションを開始予定としている。



# 1 現状と課題 8/8

## ○病院の病棟の構成は

- ・ 一般病床 72床：急性期機能を中心とする
- ・ 療養病床 46床：慢性期機能を中心とする
- ・ 地域包括ケア病床 77床：回復期機能を中心とする

## ○救急患者受入数（救急車及び時間外患者数）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 (4月～6月)
救急車受入数	537台	620台	774台	163台
救急患者数	4,207人	5,349人	7,818人	1,364人

# 1 現状と課題 受託業務等

	相手方	内容等	対象者
検診受託	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上天草市、国保、社保</li> <li>・全国健康保険協会</li> <li>・財団法人船員保険会</li> <li>・各事業所</li> <li>・市町村共済組合</li> <li>・上天草市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診、施設検診、人間ドック</li> <li>・生活習慣病予防検診</li> <li>・船員手帳交付時検診、生活習慣病検診</li> <li>・事業所検診（法定検診、ストレスチェック）</li> <li>・人間ドック、総合検診</li> <li>・上天草市職員健診（ストレスチェック）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民</li> <li>・社会保険加入者</li> <li>・船員等</li> <li>・事業所</li> <li>・組合員等</li> <li>・職員等</li> </ul>
協力病院業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホーム椿</li> <li>・特別療護老人ホーム翔洋苑</li> <li>・グループホーム龍ヶ岳</li> <li>・グループホームひめど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な診察、往診</li> <li>・入所者の処置、入院受入</li> <li>・入院受入</li> <li>・入院受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所者、利用者</li> </ul>
医師派遣業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホーム相生荘</li> <li>・特別養護老人ホーム御所浦苑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回入所者の健康管理、診療</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所者</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上天草市等</li> <li>・龍ヶ岳小中学校、教良木小学校</li> <li>・保育園</li> <li>・熊本赤十字病院</li> <li>・熊本県</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上天草市各種予防接種</li> <li>・乳幼児健診（フッ化歯含む）</li> <li>・妊婦検診（妊婦歯科検診含む）</li> <li>・新生児聴覚検査（天草市含む）</li> <li>・産業医</li> <li>・学校医（内科、歯科）</li> <li>・高戸保育園、大道保育園、樋島保育園、教良木保育園</li> <li>・献血に係る医師派遣（年4回）</li> <li>・結核の健康診断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民</li> <li>・乳幼児</li> <li>・妊婦</li> <li>・新生児</li> <li>・事業所</li> <li>・児童、生徒</li> <li>・園児</li> </ul>

## 2 今後の方針

### 【地域において今後担うべき役割】

過疎地域の医療圏において医療の範囲を限定せず、多様化する住民ニーズに応じた医療機能（急性期、慢性期、回復期）を維持していくことが必要と思われる。近年、患者の多くは高齢者であり慢性的な医療が中心であるが、天草医療圏内の急性期医療に加え、政策医療上の役割も担っており、その役割を果たすべく、今後も医療機能を維持していく。

地域包括ケアシステムを充実していくため、行政、医療機関、開業医、介護施設等との連携を図り、さらに附属施設である介護老人保健施設、訪問看護ステーション、居宅介護支援センター、訪問リハビリテーションをさらに強化し、退院後の在宅支援及び看取りまで行い、地域住民が安心して暮らせる体制の構築を図る。

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

#### 【① 4 機能ごとの病床のあり方 その1】

単位：床

病床機能	2017年(平成29年)	2023年(令和5年)	2025年(令和7年)
高度急性期	—	—	—
急性期	92	72	72
回復期	57	77	77
慢性期	46	46	46
その他	—	—	—
合計	195	195	195

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

##### 【 ① 4 機能ごとの病床のあり方 その2 】

- 高度急性期においては、天草地域医療センター及び熊本市内の高度医療機関と連携し、対応する。
- 急性期については、人口が減少し、少子高齢化が進んでいることから、慢性的な医療が中心となると思われるが、高齢者は単一の疾患だけでなく複数の疾患を有しており、在宅や施設での急性増悪に対応すべく、急性期の病床を維持する。
- 回復期については、急性期からの受入れの他、在宅及び介護施設からの一時的な急性増悪の受入れを行い、在宅復帰の支援を行うことにより、患者や地域が必要としている病床であることから回復期の病床を維持する。
- 慢性期については、高齢者世帯、独居世帯が増加することが見込まれることから、療養病床における地域のニーズは必要であるが、今後の医療政策の動向及び患者の疾病状況も踏まえ、介護医療院等の検討をしていく。

### 3 具体的な計画

## (1) 今後提供する医療機能に関する事項

### 【②診療科の見直し】

	現時点 ( 2023年6月時点)	2025年	理由・方策
維持	内科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、循環器内科、小児科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、呼吸器内科、神経内科、代謝内科、精神科、皮膚科、消化器内科、消化器外科、肛門外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、腎臓内科、歯科・歯科口腔外科	内科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、循環器内科、小児科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、呼吸器内科、神経内科、代謝内科、精神科、皮膚科、消化器内科、消化器外科、肛門外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科・歯科口腔外科	地域唯一の総合病院として、可能な限り診療科を維持したい。
新設	—		
廃止	—		
変更・統合	—		

### 3 具体的な計画 (2) 数値目標

	現時点(2023年5月時点)	2025年
①病床稼働率	75.6%	86.3%
②紹介率	45.7%	46.0%
③逆紹介率	29.2%	30.0%

### 3 具体的な計画

## (3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

### 【取組みと課題】

- 医師確保は喫緊の課題であり、熊本大学、県への医師派遣依頼はもとより、行政とも連携を密にし、あらゆる方面から情報を収集していく。また、商業施設がある松島町の民間アパートを借上げ、医師の住環境の改善を図り、医師確保に取り組む。
- 薬剤師及び他の医療従事者の働き手も不足してきており、医師以外の従事者の確保も課題となっていることから、奨学金の活用及び理学療法士、視能訓練士等の実習を積極的に受け入れ、医療従事者の確保に努めてまいる。
- 入院患者の確保のため開業医、介護・福祉施設及び消防機関との連携会議、研修会等による顔がみえる関係を築き、新患及び紹介患者に重点をおいて、病床利用率の向上を図る。
- 退院後の在宅支援として、訪問リハビリテーションの開設を行い、訪問看護ステーション、介護老人保健施設を充実していく。
- 2024年度から医師の時間外労働の上限規制が適用されることから、当院では、令和5年3月24日に宿直許可（20：00～翌8：30）を得た。今後においても当該規制を遵守するため、「日直」の許可が得られるよう努めてまいる。